



第13回 日本ジオパークネットワーク全国研修会 実施報告書

- 開催日 2019年5月28日（火）午前9時から 2019年5月29日（水）午後4時まで
- 開催地 銚子ジオパーク（千葉県銚子市）
- 会場 絶景の宿 犬吠埼ホテル（千葉県銚子市犬吠埼9574-1／TEL0479-22-8111）
- 主催 銚子ジオパーク推進協議会
特定非営利活動法人 日本ジオパークネットワーク
- 趣旨 日本ジオパークネットワーク（JGN）の主催する全国研修会で、日本のジオパーク全体のレベルアップと加盟団体の交流によるジオパークの普及啓発及び事例の共有化を図る
- 参加者 ジオパーク推進組織の事務局長又は事業判断のできる管理職 45人
※参加者は別紙名簿のとおり

○テーマ

「ジオパークの推進組織のマネジメントを考える」

ジオパークは、行政やガイド団体、学術研究機関、民間企業、地域住民など多様な利害関係者の集合体であり、その運営にあたっては事務局の総合調整機能が不可欠となっている。本研修会では、全国のジオパークの推進組織が抱える問題と課題、成功事例やそのノウハウを共有することにより、事務局としてのマネジメント力をアップすることを目標とした。

○日程

【1日目】

9:00～10:30	○歓迎あいさつ(銚子ジオパーク推進協議会・越川会長) ○開会あいさつ(日本ジオパークネットワーク・齊藤事務局長) ○研修会の日程等について(銚子ジオパーク・小川事務局長) 【グループワーク①】
10:30～10:45	休憩
10:45～12:00	【グループワーク②】
12:00～13:30	昼食
12:30～13:25	【犬吠埼ぶらり散歩ツアー】(参加希望者のみ) ○銚子ジオパークビジターセンター ○犬吠埼灯台 ○白亜紀浅海堆積物(国指定天然記念物)
13:30～15:00	【グループワーク③】
15:00～15:15	休憩
15:15～16:45	【グループワーク④】
18:00～20:30	【交流会】

【2日目】

9:00～10:30	【グループワーク⑤】
10:30～10:45	休憩
10:45～11:45	【まとめ】 ○閉会あいさつ(日本ジオパークネットワーク・齊藤事務局長)

12:00	【フィールドワーク(ジオツアー)】出発
12:15～13:00	○昼食(一山いけす) ○黒生散策
13:15～13:45	○地球の丸く見える丘展望館見学
14:00～14:40	○国指定名勝及び天然記念物「屏風ヶ浦」見学
15:00～15:50	○ヤマサ醤油工場味わい体験館見学 ※しょうゆソフト試食
16:00	解散(JR銚子駅前)

○内 容

【グループワーク】

形式	○ワールドカフェ方式 ・ファシリテーター(リーダー)と記録係を置かない ・話し合った結果を発表しない ・机上に用意した模造紙と付箋紙は自由に使ってよい ・途中で他のグループへ移動してもよい	
グループ数	6グループ(会場内に島状のテーブルを6つ設営)	
進め方	①事務局がランダムに指名した6人がそれぞれ興味のある課題カードを選んで各テーブルに持ち帰る。 ②参加者は6つの課題カードで最も興味のあるテーブルに移動する。 ③60分から90分じっくり時間をかけて課題について自らが持ち得る情報を提供し自らの考えをざっくりばらんに述べる。 ④討議の中から課題解決のヒントとアイデアを見つけ出す。 ⑤①で指名された者が次の課題カードを選ぶ人を指名する(※以降は繰り返し)	
課題カード	○組織内の意識向上と連携 ○実行計画と評価 ○人事 ○人材確保と育成 ○財源確保 ○国・県との連携 ○広域連携 ○複数自治体の連携 ○地域振興 ○地場産品活用の商品開発 ○ガイド養成とガイド活動 ○ジオツアー企画と催行 ○拠点施設の整備	○パンフレット作成 ○防災・減災の取り組み ○情報発信 ○ロゴ・キャラクター ○地域住民の巻き込み ○住民理解と気運醸成 ○地元団体連携と経済活動 ○学術研究の奨励と蓄積 ○SDGsの取り組み ○新規認定と再認定制度 ○近隣ジオパークとの連携 ○国内ジオパークとの連携 ○海外ジオパークとの連携
事前アンケート	○研修参加者に対して事前アンケートを実施した。 ○アンケートは21項目にわたり、各ジオパークの現状を参加者の立場でどう感じているか率直に回答してもらった。 ○アンケート結果はエクセルシート1枚に集計のうえ、研修会当日に配布した。 ○グループワークの際、課題カードのテーマが得意な地域を見つけ出しやすくすることにより討議の進行をサポートする資料として活用した。	
良かった点	○スタッフの段取りもよく想像どおりのスタイルのよい研修だった。 ○ワールドカフェ方式でストレスなくいろいろな話ができよかった。 ○共通の課題でも各ジオパークが置かれた状況により自分のジオパークと相対的に比較することができ今後の活動の大きなヒントを得られた。 ○最初から壁を感じることなく同じジオパークを推進する者として議論を進めることができた。 ○グループワークは新しい形態での施行とのことだったが、テーマ以外に縛りのない会話は各ジオパークの本音を随所に聞くことができ今後の運営の参考になるものばかりだった。 ○あらゆる課題(テーマ)が用意されており特定の課題を掘り下げる研修よりも大いに参考になった。 ○ワールドカフェ方式は参加者が自由に発言できる点で経験の浅い方でもすんなり議論の場に溶け込めた。	

改善点	<ul style="list-style-type: none"> ○初日の4クールで相当疲れたので2日目は気持ちが入らなかった。 ○グループワークの会話の中で練り上げられた建設的なアイデアは、どこかで集約して検討する場があれば、今後ネットワーク全体の盛り上がりと普及につながると思った。 ○皆さん少し遠慮しているように見えた。もっと自由でもいいと思った。○いつも同じグループになる人、逆に一度も一緒にならない人がいた。人を知ること研修の目標ならばある程度のローテーションは必要である。 ○事務局経験の浅い者同士では問題提起だけで終わってしまう場合があるため経験豊富な方を各グループに配置する配慮があればよかった。 ○事前に課題カードのテーマが知らされていれば関係資料を持参したり事前に目を通しておくことができたかもしれない。 ○経験の浅い方と長い方の議論のレベルが合わない印象を少し持った。経験年数別にグループ討議をするのも一手と思う。 ○同じ課題に興味を持つ方が多くバランスを考え他のグループに移動したこともあった。参加者すべてと話せるような仕掛けや工夫があるとよい。 ○最初から最後まで同じ形式だったため課題が異なっても同じ議論になってしまった。せっかく銚子で開催したので銚子ジオパークの解説などのスパイスを織り交ぜてもよかったと思う。 ○課題(テーマ)に対して困っている地域ばかりが集まってしまう建設的な意見が出ず難しい状況になったので何らかの対応を考えるべきだった。
感想	<ul style="list-style-type: none"> ○初めてジオパーク関係の研修会に出席しすべてが新鮮だった。

【犬吠埼ぶらり散歩ツアー】

案内地	<ul style="list-style-type: none"> ○銚子ジオパークビジターセンター ○犬吠埼灯台 ○白亜紀浅海堆積物
案内者	<p>小川正俊(銚子ジオパーク推進協議会事務局長) 岩本直哉(銚子ジオパーク推進協議会専門員) 山内祥行(銚子ジオパーク推進協議会専門員)</p>
良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ○昼休みの有効な使い方だと思う。 ○犬吠埼灯台にも上がることができ満足した。 ○石切場も丁寧な説明で楽しかった。 ○ガイドが常駐している拠点施設はいいと思った。 ○短時間ではあるが翌日のフィールドワークに参加できない方にも配慮した大変よい取り組みだった。
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ○犬吠テラステラス内の観光案内所はビジターセンターになっていたと思うが施設内での説明があるとよかった。 ○犬吠埼の天然記念物では地質以外の説明もあったらもっとよかったと思う。 ○有意義な内容だったが昼食後なのでもう少し短時間でもよかった。 ○海岸に出たからガイドとの距離があり少し聞き取りにくかった。
感想	<ul style="list-style-type: none"> ○風が強い犬吠埼を体感することができた。 ○前日犬吠埼を歩いたが簡易な説明があると理解度が増して愛着につながると思った。 ○来たことがなかった犬吠埼と銚子に大きな好印象を持てた。 ○研修会場からほどよい距離があり、時間的にもちょうど良い運動になった。 ○海の力と偉大さを実感した。 ○前日に犬吠埼周辺を散策時にビジターセンターのガイドに無料で案内してもらった。ジオパーク関係者であることを伝えると丁寧に説明いただき大変参考になった。 ○フィールドワークに参加できなかったため銚子のジオサイトを見られる貴重な体験だった。 ○素人目には何も知らなければ岩場がゴツゴツしている印象だが、説明を聞くことで自分のジオパークとの地質的な違いや歴史的背景など視野が広がった。 ○君ヶ浜に行けなかったのが残念だった。 ○灯台のある犬吠埼は大変魅力的で思わず白い郵便ポストと灯台の写真を撮ってしまった。 ○地元ケーブルテレビの取材を受けていたため参加し損ねた。 ○高所が苦手なのに灯台展望台で大声を出してご迷惑をおかけしました。 ○自分の地域と似た地形で関心が湧いた。 ○とにかく風が強いと感じた。洋上風力発電に取り組んでいて今後も拡大する計画があると聞き自然の力を最大限に生かしていると感じた。 ○後日、プラタモリで見学した場所が放映されびっくりした。 ○何度か銚子に来ているが初めて灯台に昇ることができた。

【交流会】

出席者	研修会参加者(43人) 中田節也(日本ジオパーク委員会委員長) 銚子ジオパーク推進協議会メンバー及び事務局(13人) 紀權宥(台湾地質公園学会理事)
内容	○開会あいさつ(越川市長・銚子ジオパーク推進協議会長) ※越川会長のアコースティックギターと歌のライブ演奏 ○来賓あいさつ(中田節也日本ジオパーク委員会委員長) ○乾杯(石川教育長・銚子ジオパーク推進協議会副会長) ○郷土芸能披露(阪流会) ※祭ばやしを中心に勇壮な跳ね込み太鼓や銚子大漁節を演奏 ○閉会あいさつ(工藤忠男・銚子ジオパーク推進協議会副会長)
その他	料理には水揚量日本一を誇る銚子漁港直送の刺身船盛りやブランド魚である銚子つりきんめの姿煮など銚子らしさを前面に出したものを提供した。
感想	○市長の歌に銚子とジオパークへの愛を感じた。 ○ユニークな市長がよかった。 ○サービス精神旺盛な市長さんや事務局のおもてなしに感動した。 ○なぜ銚子でこのグルメなのか料理長の解説があってもよかったのでは。 ○市長さんの弾き語りや銚子の方々との意見交換ができ皆さんの熱い思いを感じた。 ○ホテルの設備は新しくないが親身で精いっぱいホスピタリティ、眺望のよい温泉、特に朝食バイキングの品数の充実ぶりに大変満足した。金額と内容のバランスもよかった。

【研修のまとめ】

進め方	まとめとして、参加者が1人1分程度で今回の研修の感想を述べた。
自由意見	○市長はじめ銚子ジオパークの皆さんのおもてなしに感動した。 ○銚子ジオパークが確実に課題に取り組んで解決を図っていることがよくわかった。今後の参考にさせてもらいたい。 ○各地のジオパーク事務局の方々と様々な意見交換ができて大変よかった。 ○今回の研修で少し時間が足りなかったので7月の全地域事務局長会議でグループワークを継続するかたちで実施してもらいたい。 ○多くの方々と交流ができたことと他地域の取り組みについて学ぶことができ大変有意義な研修だった。 ○全体的に非常に勉強になる研修会で、他のジオパークとのつながりも深められ大変よかった。

【フィールドワーク(ジオツアー)】

案内地	○昼食(一山いけす) ○黒生ジオサイト散策 ○地球の丸く見える丘展望館からの眺望ジオサイト見学 ○屏風ヶ浦ジオサイト見学(国指定名勝及び天然記念物) ○ヤマサ醤油工場味わい体験館見学(ジオサイト) ※しょうゆソフトクリーム試食
案内者	小川正俊(銚子ジオパーク推進協議会事務局長) 小玉健次郎(銚子ジオパーク市民の会・認定ジオパークガイド) 内匠五月枝(銚子ジオパーク市民の会・認定ジオパークガイド) 田中豊(銚子ジオパーク市民の会・認定ジオパークガイド) 房州文子(銚子ジオパーク市民の会) 岩本直哉(銚子ジオパーク推進協議会専門員) 山内祥行(銚子ジオパーク推進協議会専門員)
良かった点	○説明内容はもちろんだがガイドの熱意が伝わってくる案内だった。 ○ガイドの案内が良かったのでガイドする際に気を付けていることなどを聞いてみたかった。 ○ゆっくりとわかりやすい話し方やパネルの使い方など参考になる素晴らしいガイドでした。 ○フィールドワークはあのぐらいの量でちょうどよいと思う。 ○ほのぼのとした素朴な感じのガイドの解説とホスピタリティなど大変よかった。 ○フィールドワークは不参加だったがホテルの方が車で犬岩と屏風ヶ浦を案内してくれた。

改善点	<ul style="list-style-type: none"> ○時間が足りないと思った。 ○いきなり隆起からストーリー展開したが、隆起に起因する地球の動きを伝えれば銚子だけのストーリーから地球全体に広げられると感じた。 ○風が強くガイドの声が聞きづらかった。 ○もともと風が強い地域だと思うが拡声器を活用しても聞こえないときがあった。 ○知識の深い参加者が多くガイドの質問に即答していたのもっと体験型のものでよいのではと思った。 ○ガイドの音声もう少し大きい方がよかった。
感想	<ul style="list-style-type: none"> ○2日目は終日フィールドワークでもよかった。 ○ヤマサ醤油の工場内を見学したかった。 ○迫力のあるジオサイトが多数ありうらやましい。 ○今度、家族で訪れてゆっくり雄大な自然を満喫したい。 ○天候が良ければさらに素晴らしかっただろう。 ○銚子ジオパークはコンパクトと聞いていたが短時間のフィールドワークでも特徴がよく感じられジオサイトや他の見学先も優れている。一方でジオサイトが分散する自分のジオパークの見せ方の難しさを実感した。 ○銚子電鉄との連携など詳しく聞きたかった。 ○自分のジオパークとはまったく違う地形を堪能できジオパークの多様性を感じた。 ○銚子は初めてで大変興味深く回らせていただいた。海底時代を思い起させる壮観な屏風ヶ浦と富士山噴火の火山灰がここまで到達していたことが強く印象に残った。 ○銚子ジオパークの特徴がよくわかった。 ○昼食は魚が苦手という好みの問題なので気にしないでください。 ○再認定審査の際にガイドの説明が専門的との指摘を受け研修などで説明内容の平準化に取り組んでいるが、屏風ヶ浦の説明は若干専門的に感じた。 ○ヤマサ醤油では大地(地理)と人の営みがリンクしていることがよくわかり納得感があった。 ○江戸幕府の艦船が座礁した話は初めて聞き興味深かった。 ○メインのガイドさん以外の方の出番があるとよかった。 ○他のユネスコ世界ジオパークのガイドでレベルの高い解説を経験したことがある。 ○醤油のみやげや醤油ソフトクリームも食べられ銚子らしさという点でよかった。 ○銚子の醤油産業が黒潮や利根川の流通と関連しているのは意外だった。 ○銚子の昔の絵図と現在の湧水などの位置関係が面白かった。

○総 括

【本研修会の目論見】

毎年7月に東京都内で開催する全地域事務局長会議は、あらかじめ多数の議題が用意されているため、各地域の課題や懸案事項について他地域の事務局長と議論を深める時間がなかなか確保できなかった。このため、時間や結果に縛られず自由に討議できる場を求める声が複数の事務局長からあがっていた。

このため全国研修会の枠組みを利用し、事務局長を対象とした研修の一環で本研修会を企画した。

研修内容は、講師を招聘したり主催者が準備した課題に沿って結論を目指すものではなく、参加者が持ち寄った課題や懸案事項について時間の許す限り任意のグループで自由に討議するスタイルとした。

【成果と今後の展開】

本研修会の成果として挙げられるのは、ネットワークという組織の中でお互いの顔がわかる関係性を構築できたことである。グループ討議における議論については、当初から進行役と記録係を置かず発表しないという前提で行っているため、文字としての記録は残していない。しかし、参加者は長時間にわたる議論の中から、他地域との違いや課題解決のためのヒント、新たな取り組みに向けたアイデアなど参加者が個々に吸収していることは研修のまとめや修了アンケートからも読み取れるだろう。

参加者は自地域に戻れば組織を取りまとめる責任者としての活躍が求められる立場だが、JGNのネットワーク内には常に相談できる同じ境遇の仲間が多数居るといった安心感を得られたこともこの研修の成果である。

事務局長が一堂に会して、情報共有と課題解決のための議論を交わすことの重要性は言うまでもなく、今後もこのような機会が定期的に持たれることが強く望まれる。

第13回日本ジオパークネットワーク全国研修会 参加者名簿

No	氏名	ふりがな	ジオパーク(構想)名	役職	経験	部屋	交流会	ツアー
1	寺本 雄一郎	てらもと ゆういちろう	伊豆大島	係長	1	110	○	○
2	野邊 一寛	のべ かずひろ	隠岐ユネスコ世界	事務局長	12	106	○	—
3	長田 樹	おさだ たつき	隠岐ユネスコ世界	企画員	3	110	○	○
4	阿武 宏	あんの ひろし	萩	事務局長	1	黒潮	○	○
5	前 安昭	まえ やすあき	南紀熊野	事務局次長(主幹)	1	112	○	—
6	上村 治三	こうむら はるみ	山陰海岸	事務局次長	1	115	○	○
7	村尾 久司	むらお ひさし	山陰海岸	企画課長	3	106	○	○
8	岡 憲司	おか けんじ	山陰海岸	事業課長	2	107	○	○
9	柳本 仁	やなぎもと ひとし	伊豆半島	事務局長	1	112	○	○
10	佐藤 篤	さとう あつし	那須烏山構想	推進室長	1	110	○	○
11	佐藤 雅一	さとう まさいち	苗場山麓	事務局長(推進室長)	5	—	—	—
12	佐藤 信之	さとう のぶゆき	苗場山麓	事務局員	5	—	—	—
13	森江 和文	もりえ かずふみ	島根半島・宍道湖中海	事務局員	3	黒潮	○	—
14	廣澤 陽子	ひろさわ ようこ	島根半島・宍道湖中海	事務局員	1	105	○	—
15	二階堂 秀紀	にかいどう ひでき	栗駒山麓	事務局長	4	103	○	○
16	船木 信一	ふなき しんいち	男鹿半島・大潟	大潟村干拓博物館館長	1	103	○	○
17	高橋 司	たかはし つかさ	四国西予	事務局長	8	112	○	○
18	赤岡 明	あかおか あきら	下仁田	教育課課長補佐	1	107	○	○
19	関谷 友彦	せきや ともひこ	下仁田	教育課主幹	9	110	○	○
20	竹下 淳一	たけした じゅんいち	霧島	幹事長	1	115	○	○
21	成田 拓也	なりた たくや	八峰白神	事務局長	2	—	○	○
22	藤島 純	ふじしま じゅん	下北	事務局次長	3	106	○	○
23	長谷川 潤一	はせがわ じゅんいち	鳥海山・飛鳥	事務局長	1	103	○	○
24	酒井 満	さかい みちる	土佐清水構想	推進室長	4	黒潮	○	○
25	安藤 久美子	あんど うみこ	おおいた豊後大野	事務局長	1	105	○	—
26	日高 真吾	ひだか しんご	三島村・鬼界カルデラ	事務局長	5	黒潮	○	—
27	大久保 政博	おおくぼ まさひろ	茨城県北構想	事務局長	7	112	○	—
28	松田 俊彦	まつだ としひこ	飛騨山脈構想	事務局長	3	—	○	—
29	黒井 敦志	くろい あつし	とちろ鹿追	事務局長	3	黒潮	○	○
30	和田 晋	わだ しん	ゆざわ	事務局長	1	115	○	○
31	岩田 晃一	いわた こういち	五島列島構想	事務局員	1	—	○	—
32	細田 一郎	ほそだ いちろう	五島列島構想	事務局員(専門員)	2	—	○	—
33	天立 雅浩	あまたで まさひろ	恐竜渓谷ふくい勝山	事務局員	5	103	○	—
34	今堀 喜一	いまほり きいち	立山黒部	事務局長	2	112	○	○
35	伊藤 祐二	いとう ゆうじ	筑波山地域	事務局長代理	7	108	○	○
36	土屋 光行	つちや みつゆき	浅間山北麓	事務局長	2	107	○	○
37	北村 彰浩	きたむら あきひろ	白山手取川	事務局長	1	115	○	○
38	湯之上 寛樹	ゆのうえ ひろき	桜島錦江湾	課長	1	115	○	○
39	安住 真哉	あずみ しんや	大雪山カムイミントラ構想	事務局員(主幹)	1	107	○	○
40	白井 薫	しらい かおる	東三河構想	事務局次長	1	—	○	○
41	藤澤 壮仁	ふじさわ たけひと	三陸	総括次長	1	108	○	—
42	末岡 竜夫	すえおか たつお	Mine秋吉台	事務局長	6	103	○	○
43	猪又 卓也	いのまた たくや	糸魚川	事務局員	3	110	○	○
44	斉藤 清一	さいとう せいいち	JGN事務局	事務局長		106	○	○
45	小川 正俊	おがわ まさとし	銚子	事務局長	4	108	○	○